

地方創生交付金に係る事業実施結果報告
(各交付対象事業の重要業績評価指標(KPI)の実績値等)

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業終了後における実績	⑤ 外部有識者からの評価		⑥ 実績を踏まえた事業の今後について	
				令和7年3月	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
				事業効果				
1	アグリテックを活用した農業課題解決実証事業 (産業経済課)	推進	20,800,000	<p>農業者が抱える課題を解消するため、アグリテックを活用し、企業と農業者が協力して行う実証事業を実施し、その取り組みに対し支援を行った。</p> <p>今回の事業では採択が6件あり、そのうち「販路開拓」における取り組みが1件、「デジタル技術を活用した生産性向上」における取り組みが4件、「農業事業者の人材不足解消」における取り組みが1件であった。</p> <p>販路開拓の実績としては1件あり、ネット上の社内福利厚生制度とメディアを活用したPR、現地販売会の開催により、売上が合計で251,430円あり、またそこからBtoBに発展し、企業と生産者が結びつき1,205,185円の売上があった。</p> <p>デジタル技術を活用した生産性向上の実績としては4件となる。</p> <p>1件目として、富農支援アプリソフトにより、作物の収量・品質向上を図り、30人の登録、66.7%の割合で収量・品質向上につながったとの成果が上がった。</p> <p>2件目として、女性農業者の農業用ドローン免許取得促進を図り、7名が免許を取得し、今後農業用ドローンを活用した農業・肥料散布等を行っていき、作業の効率化につながることが期待される。</p> <p>3件目として、土壌診断、施肥設計による作物の品質向上を図り、6名の参加、7品目22検体の診断を実施した。</p> <p>4件目として、自動除草ロボット「アイガモロボ」による除草効果を勉強会を通じて検証し、本格実証にむけた取り組みを行い、3名の参加があった。</p> <p>農業事業者の人材不足解消の実績としては1件となる。この取り組みは、地域に興味のある旅人がWEB上でマッチングできるプラットフォーム「おてつたび」を活用し、スポットでの人材不足に困っている農業者への人材支援実証を行った。4名の農業者の参加があり、7名の応募をしたところ、15名の応募があり、短期での労働力不足解消に寄与した。</p> <p>※地方創生に非常に効果的であった</p>	地方創生に非常に効果的であった。	社会的デジタル化の進展に伴い、アグリテックを活用し企業と農業者が協力して実証事業を実施。アグリテックを活用した販路拡大1件、デジタル技術を活用した生産性向上4件、人材不足の解消1件の取り組みがいずれも農業課題の解消に効果を示し、設定KPIを大幅に達成したことから、非常に効果的な取り組みと評価された。	事業の継続	農業者が抱える課題の解消を目指した事業であることから、引き続きアグリテックを活用した企業と協力し、生産量・売上の増加、作業の効率化・生産性の向上につながるよう、成果を意識して実施していく。実証事業の効果を検証し、適正な効果が見込まれるものについては、その定着に向けて企業との連携を図っていく。
2	農業の課題解決に向けた学生チャレンジ (産業経済課)	推進	11,000,000	<p>農業においては全国的に担い手不足が進んでおり、新たな担い手の育成が急務の課題となっている。また、将来発生すると予測されている、世界的なタンパク質クライシスに対応するための昆虫食の研究も産学官連携で行ってきた。</p> <p>学生を主役とし、企業、大学、町が連携を図り、「コオロギを活用したSDGs体験学習の創造」を目指し、地域の事業者も巻き込みながら活動を行った。</p> <p>令和6年度では大学との食物残渣による餌の研究、町内事業者とのコオロギパウダーを使用した和菓子開発、町内小学校3・4年生を対象とした体験学習モニターイベントの開催など、自走を見据えた取り組みを実施した。</p> <p>※地方創生に非常に効果的であった</p>	地方創生に非常に効果的であった。	農業の担い手不足等の課題に対し、多古高校との連携により実証的に課題解決に取り組み、KPIを達成したことから、非常に効果的な取り組みと評価された。	事業の継続	学生時から農業や社会課題とされている内容に触れることで、農業への関心・SDGsを意識し、循環型食料生産の可能性を考える機会の創出、将来の農業の担い手づくりにつなげていく。
3	デジタル農家がつくる農畜産物の輸出強化事業 (産業経済課)	推進	27,499,780	<p>多古町の農産品及び加工品を海外に輸出するための販路を構築するため、インポーター調査、インポーターパイプライン構築調査、商品テスト開発支援を実施した。ターゲット国としては、昨年度に引き続きタイと新たに台湾、アメリカ(NY)に向けて、展示会への出席、商談会やテストマーケティング、商品開発等を行った。</p> <p>【国別の事業】</p> <p>○タイ THAIFEX(東南アジア最大級の総合食品見本市)への出展 レストラン商談会の実施(インポーター、料理人、メーカー等) テストマーケティングの実施(MUJI Thailand)</p> <p>○台湾 現地調査(在台湾のJETRO職員、Pan Jupiter Transport Co.,Ltd.) インポーター面談(鼎三国際企業有限公司・菓菓子(VEGE KING)・忠信国際開発事業有限公司) 試食会開催(インポーター、料理人、テレビショッピング等参加者9社) 市場調査(PXマート・微風廣場・東遠SOGO台北忠孝館・復興館) 日本新米フェアへ出展(鼎三国際企業有限公司主催)</p> <p>○アメリカ(NY) 現地調査(Japan Village, Mitsuya Marketplace NJ店、片桐) 面談(MUJI USA, BentOn, JNTO NYC, 国連、JETRO NYC, CENTRAL BOEKI U.S.A.LTD) テストマーケティングの実施(MUJI USA)</p> <p>※地方創生に相当程度効果があった</p>	地方創生に相当程度効果があった。	多古町農産品及び加工品の海外輸出販路構築を目的に、タイ・台湾・アメリカ向けに事業を実施し、町の知名度や農産物・加工品の品質を広く発信し、地方創生に相当程度効果があったと評価された。国内需要減少の中、これまで築いてきた協力関係を活かした販路拡大や所得安定化に加え、町の知名度向上を訪日や交流拡大につなげる将来的な展望が期待される。	事業の継続	日本国内における人口減少により今後国内の農産物の需要は減少していくことが見込まれる。
4	多古町地域資源デジタルコンテンツ造成事業 (産業経済課)	推進	11,000,000	<p>若い世代が農業に興味を持つきっかけを創出するため、昨年度造成したメタバース空間内に新たに畜産をテーマとしたコンテンツを造成した。また、いきいきフェスタTAKOIにおいてメタバース体験ブースを設置し、小中学生を中心に体験を行った。</p> <p>※地方創生に非常に効果的であった</p>	地方創生に非常に効果的であった。	昨年度造成したメタバース空間に畜産コンテンツを追加し、小中学生対象の体験イベントを実施した結果、高い評価を得て地方創生に非常に効果があったと評価された。	事業の継続	令和5・6年度に引き続き農業に関するコンテンツを充実させるとともに、教育方面での活用も視野に体験イベント等を開催していく。

本事業における重要業績評価指標(KPI)	本事業終了時(令和7年3月)		指標値		
	指標値	実績値	令和5年度	令和6年度	令和7年度
1 アグリテック企業と協業する町内農業事業者の人数	3人	71人	3人	6人	9人
2 農業の課題解決に向けた学生チャレンジの参加人数	10人	11人	10人	20人	30人
3 海外輸出を行う販路数	0社	0社	0社	0社	1社
4 デジタルコンテンツの造成数	1件	1件	1件	2件	3件

※⑤事業の評価について
「地方創生に非常に効果的であった」…KPIが目値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
「地方創生に相当程度効果があった」…目値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
「地方創生に効果があった」…目値を上回ることはなかったものの事業開始前に比べて改善したとみなせる場合
「地方創生に効果がなかった」…実績値が事業開始前の数値より悪化したとみなせる場合